



## 原子力の寄付金は、政治家ではなく住民に！



11月28日 原子力問題調査特別委員会

森山栄治氏から関西電力への不正資金還流について3回国会質疑に立ちましたが、その中で**新たな事実**が判明しました。森山氏が高浜町助役を務めていた当時、関西電力から**高浜町への寄付金9億円が全額町長の個人口座に振り込まれていた**のです。

本来町の公の口座に入金され、町民すべてが受益する形で使われる寄付金が、なぜ町長の個人口座に振り込まれたのか。そして事実が露見したのか。これは当時不透明な形で9億円の一部が町内の一握りの団体や家庭に配られた事が発端で明らかとなりました。

寄付金の一部3億3千万円は当時高浜3,4号機の増設に反対していた町内5つの漁協に7000万円ずつ（1漁協は5000万円）手渡しされました。これをA漁協は組合員一軒あたり500万円、B漁協は50万円ずつ配布し、C漁協は組合事務所の建設費に回すとして各戸配布は見送りました。当時高浜町の世帯数は3200軒余りです。大半が漁業権を持っていない家のため、どの家がいくらもらったのか、誰が配ったのか噂で持ち切りになり、浜田倫三町長が当時の町議会で9億円の受領と一部の配布を認める事態となつたのです。



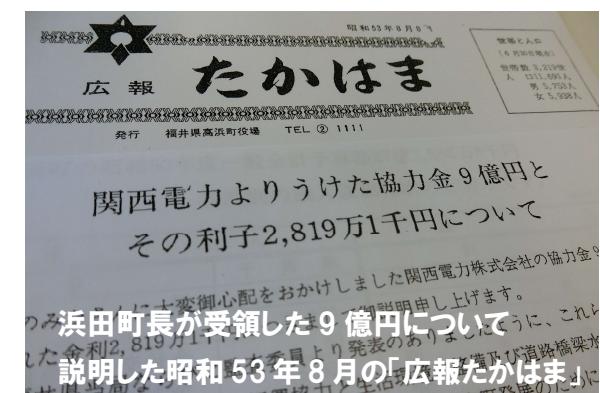
10月5日 高浜町視察

浜田氏は自分名義の口座に残っていた現金5億7千万円と利子2,819万円は全額町の口座に事後入金するので問題ないとしましたが、今回国税局が押収し関西電力役員への金品贈答の詳細が記されていた“森山メモ”には、町長が個人口座で受領した金額は9億円ではなく25億円と記載されていたとする当時の議長証言もあります。

私の質疑を受け経済産業省が調査した結果、**関西電力から浜田町長個人への協力金の送金は事実であると政府も認めました**。本来は町民すべてが受益する形で使われるべき寄付金です。政治家や公務員の個人口座に送金されても、金額も使い道もチェックすらできません。原子力事業者から首長個人へのカネの流れは制限する必要があります。

**今後を見据えても、立地市町の首長や知事の再稼働同意判断を左右しかねない問題**です。現行の政治資金規正法の下でも、森山氏が顧問を務めていた建設会社から地元選出の自民党衆議院議員に984万円分の寄付やパーティー券購入が行われてきた事実も明るみになっています。

**原子力にまつわる寄付金は、政治家ではなく地域住民が等しく受益する形に政治資金規正法を改正する**。首長や知事、地元国會議員への献金やパーティー券購入を禁止し、政治家が冷静な視点で原子力の安全性を判断できる制度にする必要があります。原子力と政治家とカネを巡る議論を次期国会でも喚起していきます。



# 丹南↔大垣・名古屋を無料で直結！



●冠山峠 2号トンネル(仮称)の進捗状況（令和元年 11月30日現在）



池田町と岐阜県揖斐川町をトンネルで直結する冠山峠道路の開通が視野に入ってきました。2本あるトンネルの1本は貫通し、県境の5km弱のトンネルも8割まで掘削が進んでいます。池田町と鯖江・越前市から短時間で岐阜・大垣や名古屋に行けるようになる画期的な道路です。冬でも通れて通行料も無料。2022年度中の開通を目指して整備を進めます！

2019年もご声援ありがとうございました 2020年も良い年をお迎えください!

# 田原総一郎氏から三ツ星国會議員表彰！



ジャーナリストの田原総一郎氏が会長を務めるNPOから国會議員三ツ星表彰を受けました。これは国会での質問の数と内容、議員立法や質問主意書の提出件数から全国国會議員をランク付けしたもので、各国会毎にNPOが発表しています。今回713人の国會議員の中から22人が最高評価の三ツ星を受章しました。三ツ星議員の名に恥じぬよう、次期国会も精力的に活動して参ります！

## 斎木武志プロフィール

1974年 5月13日生まれ  
1997年 東京大学法学部政治学科 卒業  
同 年 NHK入局(アナウンサー)  
2009年 第45回衆議院選挙当選  
2017年 第48回衆議院選挙当選(2期)

役 職 国民民主党副幹事長  
党福井県連代表  
党エネルギー調査会副会長  
衆議院原子力問題調査特別委員会理事  
経済産業委員会委員、裁判官訴追委員会委員



居住地／越前市本保町  
家族／妻、子供3人、犬3匹